

文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

現職検事に学ぶ 미래이학

司法制度改革の大きな潮流を体感

1月23日(金)、京都地方検察庁総務部長の新倉英樹検事による特別講義「法学セミナー」を本校視聴覚教室において開催しました。昨年度に引き続き、2度目の企画でしたが、本年度はFMキャス

ルの番組で講演会の開催を取り上げていただき、放送を通して市民の皆さんにも参加を呼びかけ、市民の方を交えた講演の機会となりました。

講師の新倉検事は、これまで、TV等において時折耳にします、東京地方検察庁特別捜査部(東京地検特捜部)に勤務されたほか、裁判官の研究・修養、司法修習生の修習機関でもある司法研修所で教官として人材育成に携わってき



ておられます。また、各地の大学での講義も担当されるなど、多彩な活躍をされている方で、今回の講演会では大きく2つのテーマについてお話いただきました。

前半では、司法制度改革の大きな柱の1つであり、国民の関心も高い、裁判員制度についての講演でした。講演の中で裁判員制度をわかりやすく解説したDVDを視聴し、制度の概要と基本理念等に関する理解を深めました。



(南陵中学校出身)

後半では、検察官の職務と役割、日常業務についてお話しただくとともに質疑応答の時間として、生徒が事前に提出させていただいていた質問の一つ一つに丁寧に答えていただきました。質問への回答を通して、さらに一歩踏み込んだ内容についても触れていただき理解はいつそう深まりました。

(桃映中学校出身)

未来、この講演会がきっかけとなり、日本の法令や司法制度に関心を広げ、法学部への進学、さらに法曹界の未来に資する人材が文理科学科の中から巣立ってくれることを願う一日でした。



講演の内容を熱心にまとめる生徒